

■ おわた 大田発電所（水力） 【登録有形文化財】



明治 41 年(1908 年)に島津家の自家用発電所として建設され、15km 離れた串木野神岡鉱山に送電していました。切妻屋根の母屋に六角形の塔が接続する全国的に見ても特異な構成で、妻部には島津家の家紋である「くつわ紋」(丸に十の字)が施されています。

■ みょうけん 妙見発電所（水力） 【登録有形文化財】



大正 10 年(1921 年)に中津川からの取水により 1 号機が運転を開始しました。江戸切仕上げの溶結凝灰岩を全体に積み上げた、大規模な石造建築物です。

■ おおぎり 大霧発電所（地熱）



鹿児島県北部にある大霧地熱発電所では、地熱発電の仕組みについて知ることができます。霧島錦江湾国立公園地域内にあり、自然の豊かさも感じることができます。

■ 南九州系統給電制御所

南部九州(熊本県、宮崎県及び鹿児島県)の電力系統の運用管理を行っている施設です。南九州地区への電力供給の要として大きな役割を担っています。

■ ふたわたり さつま町/二渡 ホタル舟

例年 5 月～6 月に数週間だけ運航される舟でのホタル観賞です。川岸で光るホタルはとても幻想的です。



■ そぎ 曾木発電所遺構（水力） 【登録有形文化財】



明治 42 年(1909 年)に作られた水力発電施設です。昭和 40 年(1965 年)に鶴田ダム建設に伴い、湖底に沈みました。毎年、濁水期(5 月～9 月)に姿を現します。

■ せんだい 川内発電所（火力）



九州の 3 大川の一つ、川内川の河口に位置し、南九州でただ一つの重・原油専焼の大型火力発電所として昭和 49 年に 1 号機、昭和 60 年に 2 号機が運転を開始しています。晩秋から初春にかけて、川内川に沿ったダイナミックな霧の流れ(川内川あらし)が観察できます。